

# 平成30年度『学校経営シラバス』

北海道東川高等学校

【本年度の重点】 研究開発学校に係る国際理解教育の推進

めざす学校像	めざす生徒像
1 学ぶ意欲を高め、 <u>21世紀型能力</u> を育てる学校 2 切磋琢磨し合い、 <u>人間性</u> を高め合う学校 3 努力を支え、 <u>高い進路希望</u> を実現させる学校 4 安全で <u>安心な</u> 学校生活を保証する学校	(校訓) 「美風慣行」 「自律創造」 1 情操豊かで創造力のある生徒 2 自己の可能性を最大限に発揮できる生徒 3 明朗・闊達・剛健で健康な生活を営む生徒

職	対象	中期目標	今年度の目標	目標達成のための評価の観点
教育活動	学習指導	1 学習意欲の喚起 2 <u>21世紀型能力の育成に向けた授業づくり</u> 3 基礎学力の向上	1 主体的・対話的な授業の工夫と指導法の改善  2 <u>外部テストの有効活用</u> 3 <u>指導と成果の検証</u>	1 (1)「 <u>本時の目標</u> 」の明示や「 <u>振り返り</u> 」により生徒に見通しを持った学習を促せたか。 (2) <u>思考力や表現力を育てるために協同的な学習を取り入れたか。</u> (3) <u>教科横断的に国際理解教育を進めたか。</u> 2 (1) <u>基礎力診断テストの結果を個別指導や授業改善に活用できたか。</u> 3 (1) 生徒の <u>授業満足度</u> は高いか。 (2) <u>受験に必要な学力向上</u> が果たせたか。
	生徒指導	1 東川高生としての自覚及び自主自律の精神の育成 2 生徒間の適切な人間関係の構築	1 校訓の実践  2 保護者・地域・他校種との連携強化 3 生徒観察及び教育相談の充実	1 (1) <u>美しい礼儀・言葉・挨拶</u> を身につけたか。 (2) 生徒に <u>自己成長のための個人目標</u> を持たせ、その達成に向けた指導ができたか。 (3) <u>生徒会や委員会の日常活動</u> が活発だったか。 (4) <u>生徒の活躍の場</u> を多く設定できたか。 2 (1) <u>家庭への連絡</u> を密に行ったか。 (2) 生徒を <u>地域行事等へ積極的に参加</u> させたか。 (3) <u>地域人材の教育力</u> を導入できたか。 3 (1) <u>いじめの可能性を積極的に認知</u> したか。 (2) <u>ネットトラブルの防止</u> ができたか。 (3) <u>生徒個々の悩み等</u> に寄り添えたか。
	進路指導	1 将来に夢と希望を持ち目標に邁進する生徒の育成 2 第一希望の進路実現	1 キャリア教育の充実 2 進路目標の明確化と生徒の適性・能力の伸長 3 進路相談の徹底と各生徒の変容	1 (1) <u>職業生活への自覚と意欲</u> を育成できたか。 (2) <u>外部教育力等</u> を積極的に活用できたか。 2 (1) 進路目標の早期設定と、 <u>体系的な受験・面接指導</u> ができたか。 (2) <u>進学希望者への学習支援</u> は十分だったか。 (3) <u>模試と講習の連動</u> を効果的に行えたか。 3 個々の生徒に <u>社会人基礎力</u> を獲得させる指導ができたか。
	健康・安全指導	1 健康で安全な学校生活の保障 2 自他の生命を尊重する精神の育成	1 校内外の環境美化に係る自主活動の育成 2 生命尊重・健康増進・安全指導の徹底	1 委員会活動や生徒会活動と連動させ、 <u>生徒の主体的な美化活動</u> を形成できたか。 2 (1) <u>いじめのない学校生活</u> を保障できたか。 (2) <u>各種講話</u> は生徒の意識高揚に寄与したか。

職	対象	中期目標	今年度の目標	目標達成のための評価の観点
学校運営	信頼される学校づくり	1 生徒・保護者・地域の負託に応える学校づくり 2 情報提供の拡大と説明責任	1 保護者・地域との信頼関係構築  2 学校評価、学校HP・学校だより等の充実と <u>指導に対する説明責任</u>	1 (1) <u>生徒・保護者の思いや地域ニーズ</u> を的確にとらえ、その対応が十分だったか。 (2) <u>地域やPTAとの関わり</u> に積極的だったか。 2 (1) <u>HPの更新、記事提供</u> に積極的に関わられたか。(担当領域における記事の作成) (2) <u>学習・生徒指導等</u> において、 <u>生徒や保護者の信頼</u> を得ているか、また説明は十分か。
	組織運営	1 組織力の向上 2 活力ある学校づくり 3 学校評価の活用	1 課題解決に向けた協働体制の確立 2 時間外勤務の縮減 3 <u>経営参画意識の向上</u> 4 <u>カリキュラムマネジメント</u> による業務の推進	1 (1) 「 <u>報告・連絡・相談</u> 」を密にして職員間の連携に努め、 <u>組織的な取組</u> ができたか。 (2) <u>社会に開かれた教育課程</u> が実施できたか。 2 <u>働き方改革</u> を意識し <u>業務の効率化</u> に努めたか。 3 <u>各分掌や学年の目標達成</u> に寄与できたか。 4 <u>前後期の反省や学校評価結果</u> から <u>具体的な改善方策</u> を練り、実行に移せたか。
	教職員の資質向上	1 授業力・生徒指導力の向上 2 自己洞察の深化	1 授業力と研修意欲の向上、危機管理意識の強化 2 <u>品格と信頼の保持</u> 3 服務規律の遵守	1 (1) <u>授業評価を授業改善</u> につなげたか。 (2) <u>研修に励み、資質向上</u> に努めたか。 (3) <u>各種リスクを想定して行動</u> できたか。 2 (1) <u>教育者としての品格</u> を保ったか。 (2) <u>言動が同僚の信頼</u> を得ているか。 3 (1) <u>不祥事防止への強い自覚</u> を持っているか。 (2) <u>服務規律保持への自己点検</u> をしているか。